

■環境グループ



市の環境や廃棄物対策などについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①太陽光発電 ②資源物の分別 ③水の安全性

■私たちの意見・提案

地球温暖化対策に向けて、太陽光パネルの利点を示して家庭での設置を推進したり、ごみの減量化のため、ごみカレンダーを改良してごみ箱に貼る資源物・ごみの分別表を作成したりしてはどうか。また、安曇野の地下水のおいしさと安全性を催しなどで紹介することも提案します。私たちも呼び掛けや、学校でのごみの分別などに取り組みます。

■市からの回答

住宅用太陽光発電設備の導入などに補助金を交付し、自然エネルギーの活用を推進に取り組んでいます。ごみカレンダーや出し方の手引きなどを分かりやすく改良したり、利便性の向上のため、リサイクルセンターの開場日などを見直したりしてごみの減量化や循環型社会の形成推進に努めます。また、環境フェアなどの催しで安曇野の水のおいしさや安全性を宣伝するとともに、水道管の洗浄や配水池にろ過装置を設置し、水質管理を一層強化していきます。

■まちづくりグループ



市の財政や協働のまちづくりなどについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①高齢者の生きがい ②男女共同参画

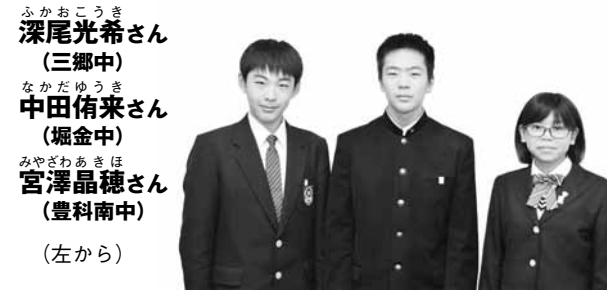
■私たちの意見・提案

高齢者が生きがいを持ち生活できるよう、市が調整役になって学校などで高齢者と若者が相互に支え合う環境づくりや、市民、特に中高生が男女共同参画に関心を持つよう、地域で学ぶイベントや講座を増やし、広報してはどうか。私たちもボランティア活動や、啓発作文コンクールなどに積極的に取り組みます。

■市からの回答

高齢者をはじめ地域の人が学校で活躍するコミュニティースクール支援事業や、市職員も地域へ出向き、各地域で行う高齢者の生きがいづくり事業への参加者の増加に向けて取り組みます。また、若い世代が男女共同参画に関心を持ってもらえるよう、市男女共同参画広報の活用や、地域で活動する男女共同参画コミュニケーターとの座談会を開催し、座談会の様子や意見交換の内容を広報などで紹介していきます。

■安全・安心グループ



防災や都市計画などについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①災害後の対策 ②交通安全 ③景観

■私たちの意見・提案

自然災害に備え、水や食料など備蓄品の補充や避難所の周知と整備に積極的に取り組むこと。また、地上設置広告物の落下事故防止のため、基準の見直しや呼び掛けをするほか、交通安全のため、自転車専用道路や自転車通行帯の設置などの環境整備を提案します。私たちも交通安全について家族で話し合います。

■市からの回答

指定避難所の耐震化や食料、飲料水の備蓄を計画的に行うほか、自主防災組織の充実強化への支援や、防災講演会の開催、防災マップを全戸に配布しています。市屋外広告物条例により安全や景観に配慮した広告物の基準を定め、月2回程度幹線道路のパトロールを行い、落下の恐れがある看板の撤去指導などにも取り組んでいます。また、自転車用の専用帯や走行指導帯を示す矢羽根型の路面標示を市道に設置するなど、安曇野の自然や景観に配慮した道路交通環境の整備に努めます。

■教育グループ



学校のことや、市の歴史、文化などについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①交通安全教育 ②出前展示 ③小中学生用広報

■私たちの意見・提案

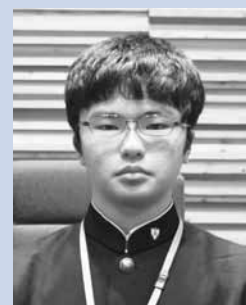
交通事故防止のため、各学校へ「通学路安全マップ」を配布すること。また、市の自然や歴史、文化、市政などを知る機会を増やすため、各学校を巡回する美術館・博物館収蔵品などの出前展示の回数を増やしたり、学校図書館に市政を分かりやすく説明した広報を置いたりしてはどうか。私たちもクラスや生徒会を通して交通安全を呼び掛けたり、市の活動に協力したりします。

■市からの回答

出前展示と併せて、市民に市の芸術文化に触れてもらうために小中学生や高齢者を対象に市立美術館・博物館の入館料の無料化や、4月に施設の「年間行事ガイド」を小中学生に配布しています。また、各学校配布の「通学路安全マップ」とは別に児童会や生徒会向けのマップづくりにも取り組みます。市政に関心を持ってもらうよう、市ホームページの「キッズページ」の充実や、「広報あづみの」を学校図書館に設置したり、広報の紙面に小中学生が登場したりするように努めます。

中学生議員 私たちの提言

■インタビュー interview 議会を終えて(11月12日)



あきわだいじろう 浅輪大二郎さん (豊科北中)

若いうちから政治や政策に関心を持ちたい

今回、議員に選ばれ、その中でも議長として参加できたのは光栄でした。議長席では発言者の動きなど様子を見ながら議事を進行するのが難しく、とても緊張しました。中学生議会に参加し、まちづくりや観光など、市のことを学ぶよい機会になりました。18歳から選挙権があるため、若いうちから政治や政策に関心を持って、積極的に政治に参加したいです。



■学習会



市の様子や市の仕事の内容について、市の担当者から説明を受けました。

■インタビュー interview 学習会を終えて(8月27日)

積極的に自分の意見を発言したい

通学路など身の回りで事故が多いため、安全・安心グループを選択しました。学習前は、広報車による呼び掛けなどが印象にはありましたが、学習会で学び、市ではたくさんの取り組みがあることが分かりました。当日は、議長も務め緊張しますが、質問では積極的に自分の意見を発言したいです。



みやざわあきほ 宮澤晶穂さん (豊科南中)